生徒・保護者等の皆様へ

部活動で不適切な指導を受けたり、見聞きしたりしていませんか？

「強くなるため」「勝つため」であっても、決して許されない指導があります！

部活動指導における不適切な指導の例

暴力・ハラスメント・精神的苦痛

- ✓ 殴る、蹴る、物を叩く・投げるなどの身体的暴力や威圧的な言動
- ✓ 大声で怒鳴る、人格を否定する、身体や容姿を侮辱するなどの言動
- ✓ 執拗に（しつこく）叱責する

理不尽な扱い・プライバシーの侵害

- ✓ 生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分なまま思い込みで指導する
- ✓ 他の生徒の面前で叱責するなど、尊厳やプライバシーを損なう
- ✓ 他の生徒に「連帯責任」を負わせ、過度な罪悪感を与える
- ✓ 無視する、排除する

安全の軽視・フォローの欠如

- ✓ 健康や安全の限度を超えた、過度な肉体的・精神的負荷を強要する
- ✓ 著しく不安感や圧迫感を感じる場所（密室）で指導する
- ✓ 指導後に一人にする、保護者等に連絡しないなど、適切なフォローを行わない
- ✓ 組織的な対応を考慮せず、独断かつ執拗に特定の生徒を追い詰める

感情的な指導

- ✓ 試合に負けた怒りをぶつける
- ✓ イライラを生徒に向けるなど、機嫌によって態度が変わる

不適切な指導を、受けたり見聞きした際には、一人で抱え込まず相談してください ～部活動の悩みでも「学校全体」で受け止めます～

・「相談すると自分の立場が悪くなる」
・「相談しても変わらない」
・「部活動のことは部活動内で解決すべき」
などの考えから、声を上げることを、ためらう場合があるかもしれません。
しかし、**声を上げることが、現状を変える第一歩となります。**

- ✓ 相談しやすい先生に相談してみましょう！
- ✓ 学校は、相談した皆さんを守ります！

相談する方法

① 直接相談する

担任や副担任、副顧問、養護教諭、スクールカウンセラーなど、一番話しやすい大人に相談しましょう。

② 校内各種アンケートを利用する

学校で定期的に行っている各種アンケートも自分の気持ちや不安を伝える大切な機会です。率直に記入してください。

③ 県教育委員会の相談窓口（オンライン）を利用する

学校に直接相談しにくい場合は、県教育委員会の不適切な指導に関する相談窓口を利用しましょう。

新潟県教育委員会

部活動指導に関する実態調査から見えた課題

（令和８年度実施）

部活動指導の現状

- 不適切な指導の多くは
  「暴言」「執拗な叱責」「無視・排除」です

- 不適切な指導は主に「練習中」に、複数回繰り返される傾向にあります。

- 不適切な指導を受けた結果として、生徒は意欲の低下だけでなく、強い不安や精神的ストレスを抱え込んでいます

誤った思い込み

- 実態調査において、
  試合に勝つため、記録を伸ばすためには、
  不適切な指導を「我慢すべき」「どちらかいえば我慢すべき」と回答　（令和８年６月調査結果）

生徒	保護者
28.6%	10.5%

「強くなるためには我慢が必要だ」「勝つためだから仕方がない」は間違いです。その考えが、不適切な指導を見逃したり、容認したりすることにつながります。
不適切な指導は許されません。どのような理由があっても、生徒が**心身の健康や尊厳を犠牲にする必要はありません。**

一人一人の気づきと行動が、よりよい部活動環境をつくります

新潟県教育委員会

新潟県立分水学校

部活動における体罰・暴言・ハラスメント等の不適切な指導根絶宣言

一、　私たちは、不適切な指導をしません。

一、　私たちは、不適切な指導を容認しません。

一、　私たちは、不適切な指導を見逃しません。

令和8年10月